

■ コミュニティバスの利用状況の推移

全体概要

○全体

図1 総利用者数の推移（年度別推移）（単位：人）

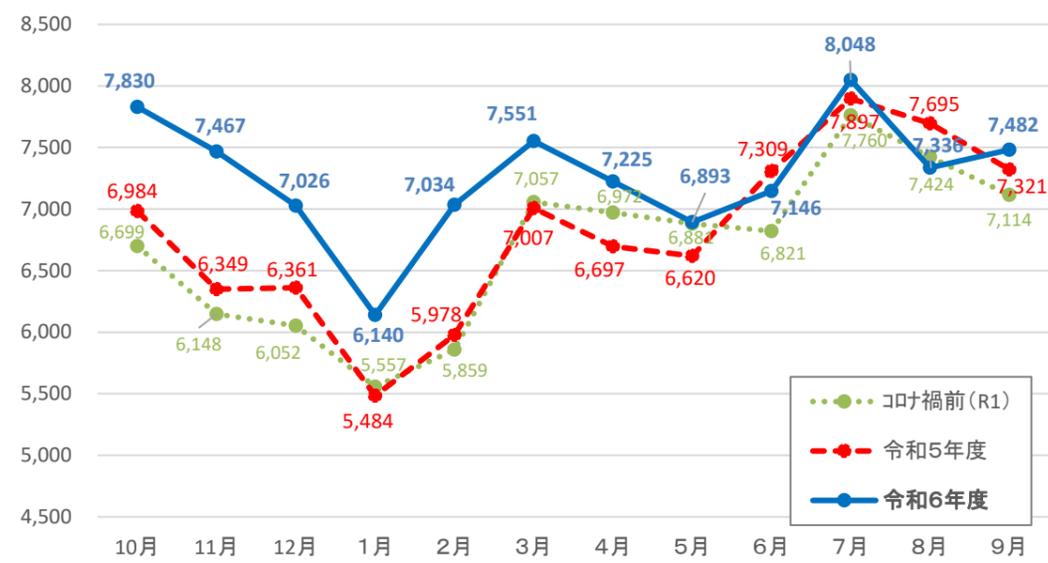
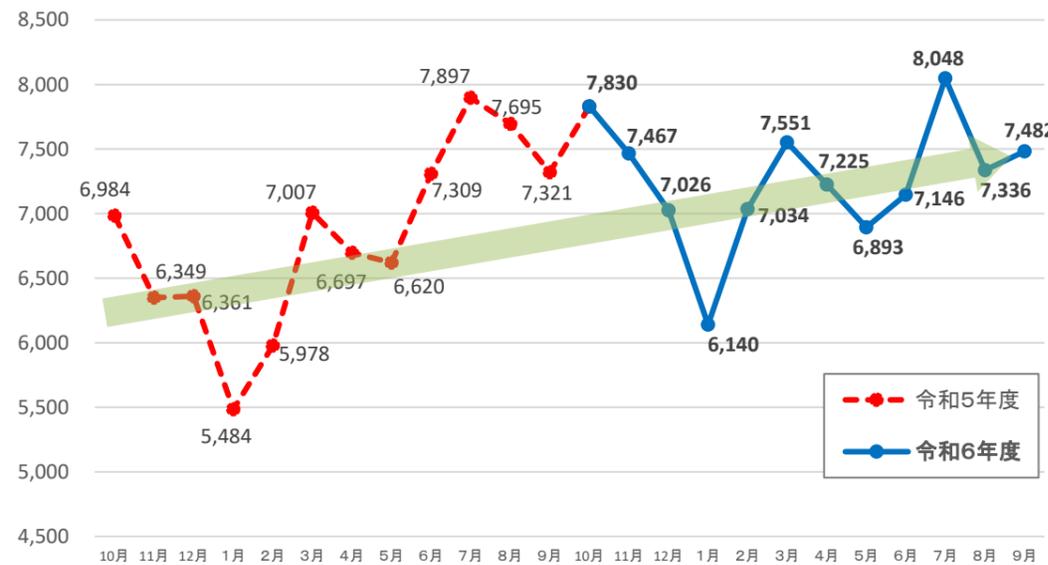


図2 総利用者数の推移（直近2年間の推移）（単位：人）



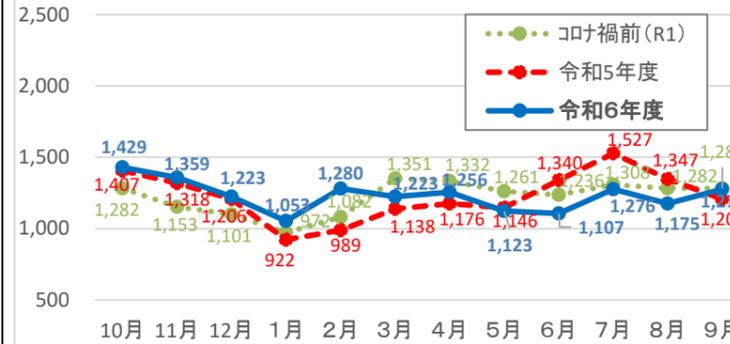
※ 生活交通確保維持改善計画（国庫補助対象事業）における事業年度を基準に比較（赤線：令和4年10月～令和5年9月、青線：令和5年10月～令和6年9月）

総利用者数は、昨年度にはコロナ禍前の実績を上回るまで回復していたが、令和6年度は、ルートによりばらつきはあるものの、合計では前年度に比べ約6.7%増加し、引き続き増加傾向となっている。今後も、新規利用者の獲得やお出かけの機会創出のため、利用促進活動を継続して実施し、利用喚起に注力していく。

ルート別の利用状況

○オレンジルート（市内の主に北側の区域を運行）

図3 オレンジルート総利用者数の推移（単位：人）



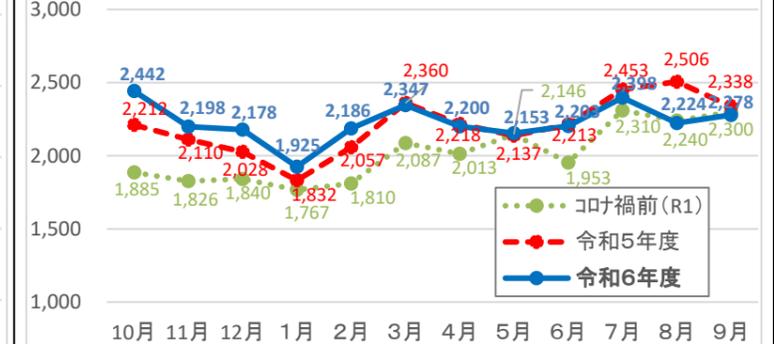
概ね前年度並みの利用者数で推移し、前年度比100.4%と微増であった。コロナ禍前比でも100.9%と上回る実績が続いているが、新規利用者の獲得が課題である

利用者が多いバス停（降車ベース）

順位	R4. 10～R5. 9	R5. 10～R6. 9
1	ヨシヅヤ清洲店(22.8%)	ヨシヅヤ清洲店(20.7%)
2	枇杷島駅東口(12.9%)	枇杷島駅東口(14.2%)
3	清須市役所(10.5%)	清須市役所(8.9%)

○グリーンルート（市内の主に南側の区域を運行）

図4 グリーンルート総利用者数の推移（単位：人）



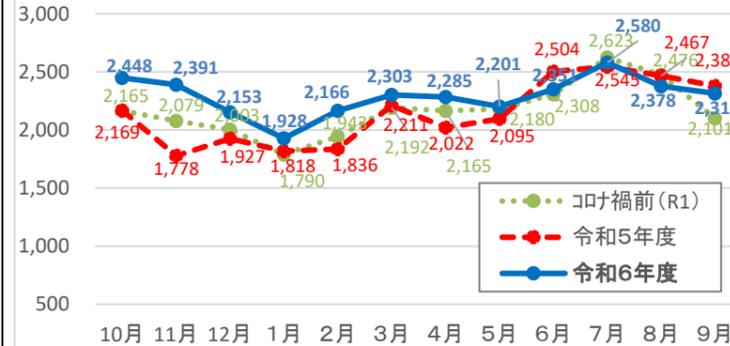
バス停により差があるものの、合計では前年度比で101.0%とわずかに増加した。コロナ前比では110.6%と上回る水準を維持しているが、新規利用者の獲得が課題である。

利用者が多いバス停（降車ベース）

順位	R4. 10～R5. 9	R5. 10～R6. 9
1	ヨシヅヤ清洲店(22.6%)	ヨシヅヤ清洲店(19.4%)
2	枇杷島駅西口(7.8%)	枇杷島駅西口(9.1%)
3	清須市役所(5.9%)	豊公橋北(湯吉郎)(6.2%)

○サクラルート（市内の主に中央を運行）

図5 サクラルート総利用者数の推移（単位：人）



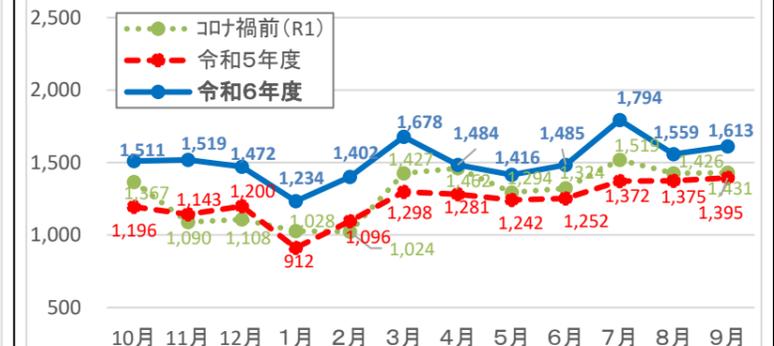
前年度にはコロナ禍前の水準近くまで回復した状況であったが、令和6年度は前年度比106.8%と、コロナ禍前を上回る状況となった。ヨシヅヤなどルートの主要な目的地で主に利用者が増加している。

利用者が多いバス停（降車ベース）

順位	R4. 10～R5. 9	R5. 10～R6. 9
1	ヨシヅヤ清洲店(24.0%)	ヨシヅヤ清洲店(26.6%)
2	新川福祉センター(8.1%)	新川福祉センター(6.9%)
3	ヤマナカ・ロイヤル西(7.7%)	ヤマナカ・ロイヤル西(6.5%)

○ブルールート（市内の主に春日地区を運行）

図6 ブルールート総利用者数の推移（単位：人）



前年度はコロナ禍前の水準に満たなかったが、令和6年度は前年度比で123.1%と顕著に増加した。またコロナ禍前比でも117.2%と大幅に上回り、継続的な利用促進事業などにより一定の新規利用者があると考えられる。

利用者が多いバス停（降車ベース）

順位	R4. 10～R5. 9	R5. 10～R6. 9
1	JR清洲駅(34.4%)	JR清洲駅(34.3%)
2	ヨシヅヤ清洲店(28.2%)	ヨシヅヤ清洲店(27.3%)
3	はるひ呼吸器病院(4.0%)	はるひ呼吸器病院(4.9%)